

保育士等の人材育成・確保に向けて



1月31日(金)、「南三陸町、南三陸高校および仙台大学による保育士等養成・定着に関する協定」を締結しました。

この協定は、町内における保育士などの人材不足の解消に向けて、町と南三陸高校、仙台大学の3者が相互に連携し、南三陸高校から保育士などの資格取得を目指して仙台大学に入学した生徒を支援する取り組みで、令和8年4月の大学入学から適用を予定しています。

この協定により、幼稚園教諭や保育士の人材育成・確保を図りながら、町内の教育保育施設への就業・定着や南三陸高校の更なる魅力化の向上に繋げていくことを目指していきます。

高校生ならではの視点で考えるまちづくり



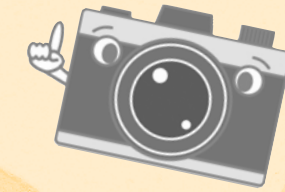
1月29日(水)役場3階議場にて、「高校生まちづくり議会」を開催しました。

この取り組みは、ふるさと南三陸町についての理解を深め、高校生の視点から町の将来を考え、課題を発見し、解決を目指すことで問題解決能力や判断力を育成することを目的としています。

今年は、南三陸高校2学年の生徒が4つのグループに分かれ、福祉、文化、産業などのテーマについて質疑を行った後、まちづくりに対する様々な提案を行いました。

参加した生徒からは、「初めての体験で緊張したが、良い社会経験になった。今回の経験を忘れず、将来に活かしていきたい」と頼もしい言葉を聞くことができました。

高校生まちづくり議会の様子については、南三陸高校公式YouTube「宮城県南三陸高等学校【志高チャンネル】」に掲載されています。



みな
レポ

百寿のお祝い 三浦ふゆのさん(◎館浜)



1月30日(木)に百寿を迎えたふゆのさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

ふゆのさんは、好き嫌いがなくなんでも食べるそうで、これがご長寿の秘訣なのでしょう。

ご自宅からは、海を望むことができ、その景色に癒されていると話してくれました。

ご家族が心配して電話をかけたとき、いつも元気な声で答えてくれる素敵なふゆのさん。

お子さんが4人、お孫さんが6人、ひ孫さんが9人いらっしゃるそうで、ご家族もきっとご長寿を喜んでいることでしょう。

ふゆのさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

百寿のお祝い 澤田かつよさん(◎津の宮)



2月7日(金)に百寿を迎えたかつよさんに、町から花束が贈られました。

かつよさんは、若いころに養蚕業や漁業、化粧品販売などの仕事をされていた働き者のお母さんだったそうで、その人柄から知らない人ともすぐに友達になっていたそうです。

好き嫌いがなく何でも食べることと、よく寝ることが長寿の秘訣だろうと、ご家族もご長寿を喜んでいました。

かつよさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

富県宮城グランプリ 部門賞を受賞!



株式会社ケーエスフーズが第13回富県宮城グランプリにおいて、部門1位となる「みやぎの食」振興部門賞を受賞されました。

磯焼けの主な原因であるキタムラサキウニを陸上で畜養し商品価値を高めて販売している他、未利用魚として廃棄されていたクロアナゴの利活用やギンザケの陸上養殖などにより、藻場の再生や地域産業の振興に貢献している点などが評価され、今回の受賞にいたりしました。

賞を受け取った後藤幸喜常務取締役は「今後も地域の発展のために尽力していきたい」と話されました。受賞おめでとうございます。